

東富水・富水・桜井地域の 「新しい学校づくり」を考えるワークショップ

「学校と地域の関係を考えよう」

第2回

日程：2024年10月4日
時間：19：00～21：00
場所：小田原アリーナ

● 第2回ワークショップ

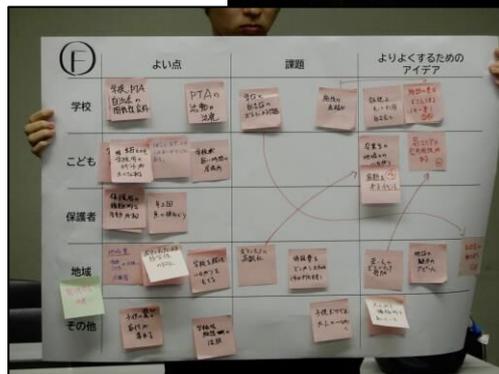
第2回のグループワークは「学校と地域の関係を考えよう」をテーマに行いました。まず、地域で活躍されている自治会代表と対談形式で、自治会が取り組まれていることなどを教えていただき、その後は、6つのグループに分かれたグループワークで、“学校” “子ども” “保護者” など、さまざまな立場から、学校と地域が関わることのよい点や課題、今後に向けたアイデアなどを意見交換しました。

プログラム	
1. 開会	<ul style="list-style-type: none"> 主催者&ファシリテーターあいさつ 今後のワークショップの進め方について
2. 現状の説明	<ul style="list-style-type: none"> 防災・防犯に関して自治会が担っている役割(自治会代表と対談方式) 防災・防犯に関して全市的な決まり、ルール・仕組
3. グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域(自治会)のつながりについて、良い点、課題、より良くするためのアイデアを出し合う 前回の配置案を見ながら「地域とのつながり」という視点で意見交換
4. 発表・意見交換	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに発表 ファシリテーターからのコメント



● グループごとの主な意見

- 子供は、学校のカリキュラムにない部分を地域から学ぶことができる。
- 学校を使って地域のイベントを開いており、地域と学校との関わりができています。お互いに顔を知ることによって、防犯や防災につながる効果が出ている。
- 自治会の役員が減っているために負担が大きくなっている。
- 学区と自治会区域のずれがあるため、連携が難しい部分がある。
- 保護者は、地域の方から子育てを応援してもらえます。
- 習い事など放課後の過ごし方の選択肢が増えているなかで、PTAに求められていることや自治会に求められていることが変わってきているのではないかと感じました。



● ファシリテーターのまとめ

- 子供たちも地域社会も、昔と比べて変わってきている。今ある課題をダイナミックに改善できるやり方を考えていくのは、今後の知恵の出しようと感じました。
- 地域社会が子供たちにとってよりよい場所として感じられることが大切だと感じた。それを踏まえて、新しい学校がどうあるべきかを考えていくべきだろうと思う。

● 今後の予定

【3回目】

- 通学環境について

【4回目】

- 1～3回を踏まえ、学校配置の将来像や今後の検討の方向性等について整理、とりまとめ